

令和7年度 墨田区立二葉小学校 学校経営方針

～開校120周年という伝統を胸に、ふたばの良さを広め深める～

- ※「率先随伴」の推進
→「子供は大人の背中を見て育つ」の実践
- ※「報告・連絡・相談」の徹底
→「チーム二葉」として機能的に動く



本校の学校教育目標

- ・自分でつくる丈夫な体
- ・自分で取り組む確かな学習
- ・自分で深める温かく強い心
- ・みんなで築く楽しい生活

墨田区教育施策大綱 目指す子供の将来像(令和5年度～令和8年度)

- (1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人
 - ア 感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
 - イ 自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
 - ウ スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人
- (2) 郷土に誇りを持ち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人



めざす児童像 ～自分と人、ものを大切にできる子～

- ◆規範意識や社会性を身に付けた思いやりのある児童
- ◆自ら考え、友達と学び合える児童
- ◆友達と励まし合いながら、最後までやり通すことのできる児童
- ◆自分で自分の身を守ることのできる児童

めざす学校像 ～自己実現のできる学校～

- ◆教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校
- ◆心の通い合うあたたかさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校
- ◆教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校
- ◆教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校

めざす教師像 ～使命感をもつ教師～

- ◆「明るく優しい教師」
児童の実態を分析し、児童理解の上に立って計画的・意図的な実践ができる教師。
- ◆「公正・公平な教師」
適正な人権感覚を持ち、保護者や地域の方々と協力し、共育を推進できる教師。
- ◆「知性的な教師」
指導力の向上をめざし、自己の力量を高めるために主体的・意欲的に研修に励む教師。

学校経営の重点1

思いやりの心の育成を基盤とした心の教育の推進

- ◆道徳教育の要である道徳科授業の充実
- ◆人権教育の充実
- ◆言語環境の充実
- ◆生命や自然への畏敬の念を抱き、他者と協働する重要性を実感できる体験的活動の工夫
- ◆いじめを許さない校風の醸成、いじめの未然防止策、早期発見・早期対処策の共通実践
- ◆伝統文化等に関する教育の充実
- ◆異年齢による交流学习活動等の充実
- ◆特別支援教育の推進
- ◆幼保小中連携を通じた豊かな心の醸成

学校経営の重点2

「健康教育の推進」

- ◆体育科授業の充実
- ◆運動の場の工夫による運動量の確保
(両国中学校体育館、仮称第二校庭の活用)
- ◆体力テストの結果をもとにした本校児童の体力向上策の立案と実施
- ◆体育的行事の充実
- ◆保健指導の充実
- ◆給食指導と食育の充実
- ◆家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- ◆オリンピック・パラリンピックレガシーの継承
- ◆地域行事、区行事との連携による運動の励行

学校経営の重点3

「授業改善の推進」

- ◆「週ごとの指導計画」による計画的な学習指導
- ◆「のびる二葉の子」による学習規律の確立
- ◆これまでの研究実践を踏まえた授業の充実
- ◆学習状況調査等の結果を踏まえた実践的な授業改革
- ◆少人数指導、朝学習、ぐんぐんのびる二葉タイム、チャレンジ教室(2年生)等による基礎基本の定着
- ◆学びの過程を重視した問題解決型学習による、知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力の育成
- ◆すみだGIGAスクール構想に基づくICTの活用
- ◆読書の時間の確保と読書活動の推進

学校経営の重点4

「『みんなで築く楽しい生活』の推進」

- ◆「みんな」→児童、教職員、保護者、地域、関係者
- ◆「子どもファースト」視点の教育活動の推進
- ◆全教職員による協働した生活指導の推進
- ◆教育活動の意図的・計画的・積極的な発信や公開
- ◆保護者・地域・関係者の声を生かした学校運営
- ◆組織的な学校運営の推進
- ◆教員のステージに応じたOJTの推進と指導力の向上
- ◆教職員のサービスの厳正
- ◆地域人材や施設、環境、学校支援ネットワーク等の活用
- ◆地域に学び、愛着を深める学習
- ◆開校120周年関連行事・学習活動の推進